

3 現在の備え②

日常生活で使用している
モノ・サービスと
現在の備えを確認します

1 わたしの身体 と 2 わたしの生活 を参考にしながら備えシールを貼ってください。

30	備えシールを貼ってください	31	備えシールを貼ってください	32	備えシールを貼ってください	33	備えシールを貼ってください	34	備えシールを貼ってください
35	備えシールを貼ってください	36	備えシールを貼ってください	37	備えシールを貼ってください	38	備えシールを貼ってください	39	備えシールを貼ってください
40	備えシールを貼ってください	41	備えシールを貼ってください	42	備えシールを貼ってください	43	備えシールを貼ってください	44	備えシールを貼ってください
45	備えシールを貼ってください	46	備えシールを貼ってください	47	備えシールを貼ってください	48	備えシールを貼ってください	49	備えシールを貼ってください
50	備えシールを貼ってください	51	備えシールを貼ってください	52	備えシールを貼ってください	53	備えシールを貼ってください	54	備えシールを貼ってください
55	備えシールを貼ってください	56	備えシールを貼ってください	57	備えシールを貼ってください	58	備えシールを貼ってください	59	備えシールを貼ってください

「自分でつくる安心と防災帳」とは

「自分でつくる安心と防災帳」は、国立障害者リハビリテーションセンター研究所が主催する障害者の災害対策を考えるワークショップで提案・開発されました。大規模災害に備え、自らの障害に合わせた備えを日常的に考えておくことは重要です。しかし、何を備えれば良いのかわからず不安を抱える障害者の方々も多いことでしょう。この防災帳は、そのような障害者・支援者の方々の「はじめの一歩」を後押しするために、以下の4つのステップで、自分に必要な備えの確認を支援します。



1 わたしの身体

自身の状況に適合した備えを整理するために、まず、自分の生活環境・身体状況を振り返ります。



2 わたしの生活

主な一日の活動を記入しながら、自分の生活に必要な機器や介助について確認します。



3 現在の備え①②

自身の状況把握にもとづき、自身の生活に必要な不可欠なモノ・サービスと、現在の備えの状況を確認します。



4 必要な備え

災害時の状況を想定した質問に応じて、現在の備えに不足しているものを見つけ、今後必要となる備えをリスト化していきます。



わたし専用の「安心と防災帳」が完成します。



このキットは、(独)日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業 研究課題「福祉機器の利活用と開発を促進するための社会技術基盤の創成」において開発されました。

【研究代表者】 諏訪 基 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問)

お問い合わせ

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 福祉機器開発室
TEL 04-2995-3100 (内線:7287 or 2522) / FAX 04-2995-3132(代表)
URL(福祉機器開発室) <http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/suzurikawa/>
URL(福祉デザインワークショップ) <http://www.rehab.go.jp/ri/kaihatsu/wdws/>
E-mail suzurikawa-jun@rehab.go.jp



自分でつくる
安心と
防災帳

～障害者の災害対策チェックキット～

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発室
福祉デザインワークショップ